

セルフィーを撮ろう!

セルフィーに必要なもの

セルフィーの基本的な写真の撮り方を紹介します。まずは、セルフィーを撮る前に準備するものについてです。

【スマートフォン】

セルフィーを撮るためには、撮影するための【スマートフォン】(今特集でのデバイスはスマートフォンとします)を用意します。また、最近では様々なセルフィー・グッズが発売されていて、その中でもスマートフォンを棒の先端に取り付けて、セルフィーを撮影できる伸縮型一脚の【セルフィー棒】が人気を博しています。

スマートフォンの液晶画面側に内蔵された内側のカメラ(名称として、例えばApple社のiPhoneの場合は“FaceTimeカメラ”、Samsung社のGalaxyでは“フロントカメラ”などと呼ばれています)で撮影します。

スマートフォンには通常、2つのカメラが内蔵されていますが、一般的に内側のカメラは、外側のカメラよりも画素数が劣ります(写真:外側のカメラ)。



【セルフィー棒】

セルフィー棒を使用した場合は、まず棒の先端にスマートフォンを取り付け、柄の部分伸ばして使います。その際、自分ではシャッターボタンは押せないで、セルフタイマー機能を使います。そのような機能がない場合は、棒の手持ち部分にシャッターボタンが付いている運動型のセルフィー棒(写真)を使うか、またはセルフタイマーの機能を可能とさせるスマートフォンのアプリケーションを利用しましょう。

カメラの設定方法で、このアイコンをタッチして、液晶画面側に自分の顔が映るようにします(イラスト: iPhoneの場合のアイコン)。

セルフィーにチャレンジ!

セルフィーを撮る時のコツを基本、応用、テクニックの3つに分けて紹介します。ぜひ、実践してみてください!

基本編

手でスマートフォンを持って撮影した写真

応用編

セルフィー棒を使って撮影した写真

テクニック編

表情を変えたり、ポーズをとったり、遠近法を利用して撮影した写真(基本編と応用編のどちらでも利用できます)



基本編



手で持って基本のセルフィーをしてみよう!

スマートフォンの内側のカメラで撮影します。この時、カメラの設定を内側にして、ディスプレイ画面に自分の顔が映るようにします。

今号特集に協力してくれた読者モデル

やじま ゆう

矢島 優さん (23歳)

とにかく新しいことが大好きで、たくさん新しいことにチャレンジをしたいと思い、オーストラリア・パースにはワーキングホリデービザで来ました。日本ではデパートの受付を担当し、華やかな中でも、責任ある企業の顔とも言える仕事をしていました。日頃からセルフィーでの撮影を楽しみ、その経験を活かして今回の読者モデルでも挑戦してもらいました。



1 まずは、右手でスマートフォンを持ち、顔の正面で構えます。



2 腕を正面から右(右手で持った場合)に約45度の角度に伸ばします。



4 最後に肘を約60度曲げて、スマートフォンの画面が顔の斜め上に来るようにして撮影します。



3 そのまま、水平線から上に約20度、腕を上げます。

【さらに!】斜め上から撮影すると自然と上目使いになり、目がぱっちり大きく見えると言われてます。また、何度か撮影して、角度の振り加減などを試してみて、自分の顔の好きな角度を見つけてみましょう。